

▽ 三村 和則 教授 MIMURA, Kazunori



学 科 : 人間福祉学科  
 担当科目 : 教育課程・教育方法、特別活動研究、道徳教育の研究、  
 教職研究 I、教職実践演習、  
 社会科・公民科教育法、社会科・公民科教育法演習

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動(過去5年間)】

- ①広島大学教育学部教育学科卒業(1983年)  
 広島大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程後期単位取得退学(1989年)
- ②教育学修士
- ③日本教育学会(1987年～) 日本教育方法学会(1983年～) 日本カリキュラム学会(1992年～)  
 日本教師教育学会(2002年～) 日本特別活動学会(2012年～) 中国四国教育学会(1984年～)  
 九州教育学会(1992年～) 歴史教育者協議会(1983年～) 技術教育研究会(1995年～)  
 日本生活教育連盟(1994年～) 他
- ④日本教師教育学会理事(2008年～)  
 日本教育方法学会理事(2015年～)  
 日本生活教育連盟全国委員(1995年～)  
 沖縄県教育委員会点検・評価のための学識経験者委員(2013年)  
 沖縄県県外進学大学生奨学金検討委員会委員(2016年～)  
 日本生活教育連盟第69回夏季全国研究集会実行委員長(2017年)

教育活動等(過去5年間)

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 学級総会原案づくりコンテスト(アクティブ・ラーニング)	～2017年度	教職に関する科目「特別活動研究」で、学級総会に提案することを想定した、学級行事についての原案を作成させ、ノミネートした作品から投票により優勝作品を決め、表彰を行うというユニークな実践を行っている。
2) 道徳の時間の指導案の「復元」(アクティブ・ラーニン	～2017年度	教職に関する科目「道徳教育の研究」で、道徳の時間の授業記録と使用された資料を与え、そ

<p>グ</p> <p>3)「学びの共有」の時間の設定(アクティブ・ラーニング)</p> <p><b>2. 作成した教科書、教材、参考書</b></p> <p>1)高校公民科教育実習研究授業指導案集</p>	<p>～2016 年度</p> <p>2015 年 1 月 2018 年 1 月</p>	<p>こからその授業のために作成されたであろう指導案を推測させ復元させるという、ユニークな指導を行っている。</p> <p>教職に関する科目「教育課程・教育方法」「特別活動研究」「道德教育の研究」の講義の中で、最後の 10 分間を学生に与え、4～5人のグループの中の 1 人が他の者にその時間の講義内容の概要を説明するという取り組みを行っている。</p> <p>担当科目「社会科・公民科教育法演習」を経て教育実習を行った学生が教育実習校で行った研究授業について、学習指導案・配付資料・ワークシート等及び学生の振り返りで構成している。教科教育法の教材として使用することができる。</p>
<p><b>3. 学生支援活動</b></p> <p>1)教員採用試験対策講座 －教職教養－ キャリア支援課主催</p> <p>2)教員採用試験対策講座 －合格体験談を聴く会－ キャリア支援課主催</p> <p>3)教員採用試験シンポジウム in 沖縄、協同出版主催</p> <p><b>4. 学外での教育活動</b></p> <p>1)沖縄大学での非常勤講師</p> <p>2)教員免許状更新講習講師</p> <p>3)協同出版社シンポジウム 「沖縄の学力向上に向けて」 登壇者</p>	<p>～2015 年度</p> <p>2013 年度</p> <p>2016 年 4 月 2017 年 3 月 2017 年 12 月</p> <p>2013 年 10 月～2 月</p> <p>2011 年～2015 年</p> <p>2014 年 3 月</p>	<p>教職教養の教育原理、教育方法、時事問題を担当。2 月又は 3 月に 3 コマ実施。</p> <p>本学出身者で当年度の採用試験に合格した者の合格体験談を聴く会をコーディネートしている。2 月又は 3 月に 3 コマ実施。</p> <p>「合格体験談から見えること」について 「今日的な教育課題は今年の試験でどう問われるか？」 「沖縄県の教員採用試験のポイントと対策」</p> <p>教育課程論、2 単位。</p> <p>教育の最新事情</p> <p>「沖縄の学校教育の在り方」について</p>

4) 協同出版セミナーin 沖縄 「沖縄の特徴を活かした教育」登壇者	2016年4月	「沖縄の地域特性を踏まえた教育と教員養成の在り方」について
5) 沖縄県立総合教育センター友の会主催定期講演	2016年5月	「児童・生徒の学力向上を目指して 教師・行政に望むこと」について
6) 沖縄県立高等学校校長会講演	2016年6月	「生徒の学力向上を目指して 教師・行政に望むこと」について
7) うるま市立あげな中学校 校内研修会講演・沖縄国際 大学学外講座	2016年7月	「どうする、どう考える 沖縄の学力」について
8) 沖縄キリスト教学院大学 での非常勤講師	2017年4月～9月	教育課程論、2単位。
9) 那覇市立真和志中学校 校内研修会講演・沖縄国際 大学学外講座	2017年7月	「どうする、どう考える 沖縄の学力」について
<b>5. 教育改善活動(FD など)</b> 1) 学生による授業評価アンケート	～2016年	3つの講義科目について実施。「よく研究されていて一番わかりやすいと思います」「教育課程・教育方法」「知識が豊富ですごく尊敬できた」「特別活動研究」「後期の授業の中で一番おもしろかったです。今まで、教科教育法の授業を受けながら、分かっていなかった部分が目からうろこが落ちるように理解できた」「(道徳教育の研究)」などの感想が見られた。 声小さくなったり単調になったりする点が課題として指摘されている。改善を行いたい。

## 研究業績等

## 【 主要論文及び主要著書 】

『教師教育研究ハンドブック』学文社、2018年(共著)  
『沖縄で教師をめざす人のために』協同出版、2015年(共著)  
『教育方法技術論 教師教育講座第9巻』協同出版、2014年(共著)  
『沖縄の学力 追跡分析—学力向上の要因と指導法—』協同出版、2014年(共著)  
“ Lesson Study in Japan”, Keisuisha, 2011(共著)  
『沖縄・学力向上のための提言—島を育てる学力をめざして—』ボーダーインク、2010年(単著)  
『日本の授業研究(上巻)授業研究の歴史と教師教育』学文社、2009年(共著)  
『教育実習事前・中間・事後指導 DVD(全5巻)』沖縄国際大学、2008年(監修・共同)  
『国語科教職課程の展開—国語科教育実践力の探求—』沖縄国際大学、2006年(共著)  
『沖縄における教育の課題』編集工房東洋企画、2002年(共著)  
『沖縄・生活指導を切り拓く』国土社、2001年(共著)  
『教育の方法—明日の学びを演出する—』ミネルヴァ書房、2001年(共著)  
『学校教師の探求』学文社、2001年(共著)  
『現代教育の争点』八千代出版、2000年(共著)  
『教育方法の基礎と展開』コレール社、1999年(共著)  
『道徳教育の基礎と展望』福村出版、1999年(共著)  
『授業の構成と展開のタクト』ぎょうせい、1987年(共著)

## 研究分野

教育方法学(授業研究方法論、ドイツにおける総合技術教育の遺産、学級集団づくり方法論)

## 【Eメール・ホームページ等】

[mimura@okiu.ac.jp](mailto:mimura@okiu.ac.jp)

2018(平成30)年4月1日現在